

第1回四万十市子ども・子育て検討会での意見交換内容（報告）

1 実施状況

日 時 平成30年11月6日（火） 18：30～20：00
場 所 市立文化センター 大会議室
参加者 17団体33名

2 意見交換内容

(1) 「愛育園」「もみじ保育所」の統合について

老朽化している2つの保育所を統合予定としている。移転場所は日本たばこ産業株式会社旧中村営業所（中村東町）とし、0歳児から5歳児を受け入れる保育施設を検討している。

主な意見 ※（2）の意見交換時に出された意見も含む。

- ① 現施設は老朽化とともに、両保育所とも送迎用スペースがなく危険である。統合での建て替えは賛成である。
- ② 保護者の声として、3歳になった時点で公立保育所に転園することが負担と聞いている。0歳から5歳までの一貫した保育に賛成である。
- ③ 統合後に入所している児童が戸惑うかもしれない。保護者も含めて事前に交流を持つなどしてほしい。
- ④ どちらの保育所も、あの施設規模だからまとまりもあり良いという面もあった。
- ⑤ 教育的なニーズもあり、認定こども園を検討してほしい。
- ⑥ 周辺住人から反対意見はないか。
- ⑦ 安いコストで良い保育はできないと思っている。複合的な施設にして、より良い保育ができるようにしてほしい。保護者の悩みを聞くことや、アドバイスができる場所を構えてほしい。
- ⑧ 統合後は0歳児からの保育を行うようであれば、周辺の託児所等が維持していけるか（入所人数を確保できるか）不安である。
- ⑨ 1施設に何人の児童が良いのか？200人というのは多すぎないか。大きな施設でなくても周辺の定員が充足していない施設にバスで送迎してはどうか。
- ⑩ 震災に対応できる施設にしてほしい。
- ⑪ 子どもが病気の時に預かってもらえず。仕事も休めなくて大変だった。子どもを安心して預かってもらえるようにしてほしい。

(2) 統合保育所の運営について

2つの保育所を統合した後の施設の運営は、公設公営または民設民営の方法が考えられる。将来的に四万十市としてどのような運営が適当か検討している。

主な意見 ※(1)の意見交換時に出された意見も含む。

- ① 民間保育所と公立保育所それぞれに良いところがある。どちらが良いという結論を出すのは難しい。
- ② 民間保育所の場合、莫大な経費が必要であれば運営できなくなる。少子化で入所してくる子どもが減った時に民間保育所では苦しくなる。安定した運営ができるよう検討を深めないといけない。
- ③ 給料や福利厚生が良い職場には良い人材が集まる。
- ④ 安全な建物を建てるには費用がかかる。民間に委託することで市の財源を少しでも使わないようにするべき。
- ⑤ 公立保育所だからこそ守られている最低限度のところがあり、公立保育所が守っているところは民間保育所でも守っていると思っている。
- ⑥ 民間保育所では一番大切な0～3歳の時期の保育を担ってきている。民間もしっかりと勉強をして取り組んでいる。
- ⑦ 保護者としては、民間保育所でも公立保育所でも、より良いサービスが提供されるのを願っている。
- ⑧ 都会では民間保育所、公立保育所を問わず様々な保育施設があり選ぶことができる。保護者に選択肢があるのは良いことだと思う。

(3) その他

特に意見なし